

— 能越自動車道 七尾氷見道路 —

情報化施工の工事現場見学会を開催！

能越自動車道 七尾氷見道路の盛土工事で行っている情報化施工の普及・促進を目的に、工事建設業者を対象とした現場見学会を開催します。

1. 開催日時

平成22年9月16日(木) 13:30～15:00

※雨天の場合は9月17日(金)に順延します。(順延は1回のみ)

2. 実施場所

富山県氷見市稲積地先(別紙参照)

3. 実施内容

- ①GPSにより排土板を自動制御するマシンコントロール技術を搭載したブルドーザーによる敷均し
- ②GPSにより振動ローラの走行軌跡を確認する締固め回数管理
- ③トータルステーションを使用した出来形管理

【情報化施工とは】

情報通信技術や電子情報を活用して工事を行うことで、生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としています。



① ブルドーザー



② 振動ローラー

※雨天順延の場合は、9月15日(水)17時までに、富山河川国道事務所 ホームページにてお知らせします。HPアドレス：<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/index.html>

※当日取材される場合は、下記担当まで事前に連絡をお願いします。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局

富山河川国道事務所 能越国道出張所

建設監督官 稲垣 裕之 電話 0766-64-5731

現場見学会の実施場所



富山県氷見市稲積地先

第7トンネル



【見学会現場・駐車場アクセス】

能越道 氷見北インター(右折) → 県道鹿西氷見線(左折)
→ 工事用道路 → 駐車場

【情報化施工 工事概要】

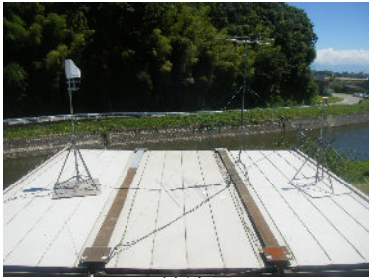
【工事箇所】 富山県氷見市稲積地内

【施工範囲】 NO.1622 ~ NO.1626

【対象工種】 路体盛土工 V=9,200m³

【使用機械】 ブルドーザー(D-3/7t級・情報化施工用)
振動ローラー(10t級・転圧管理システム搭載)
GPS基地局
トータルステーション(出来形管理用)

【使用機械】



GPS基地局



ブルドーザー(D-3/7t級)
(情報化施工用)

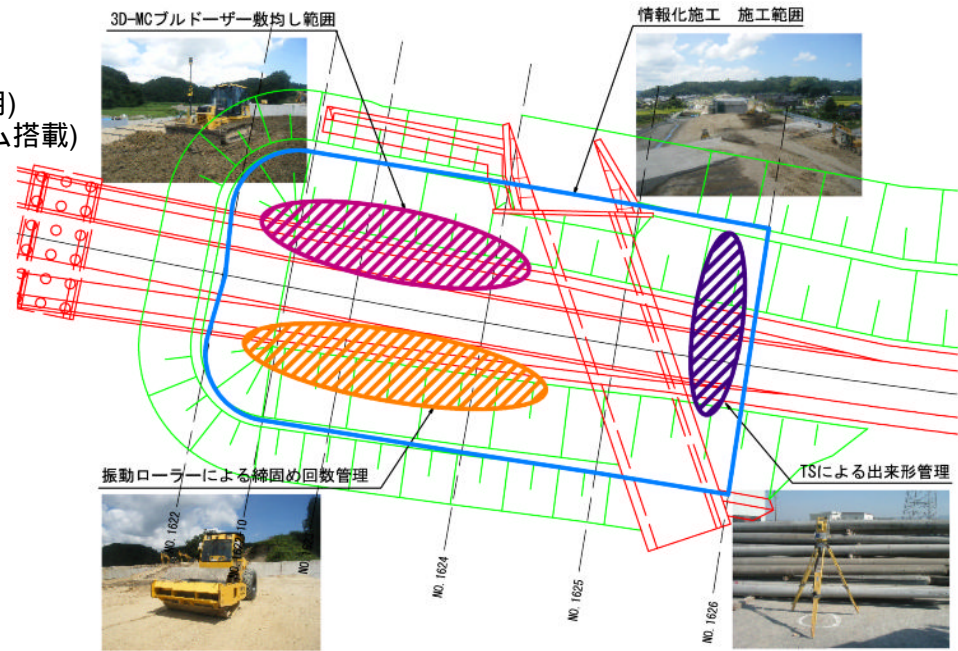


振動ローラー(10t級)
(転圧管理システム搭載)

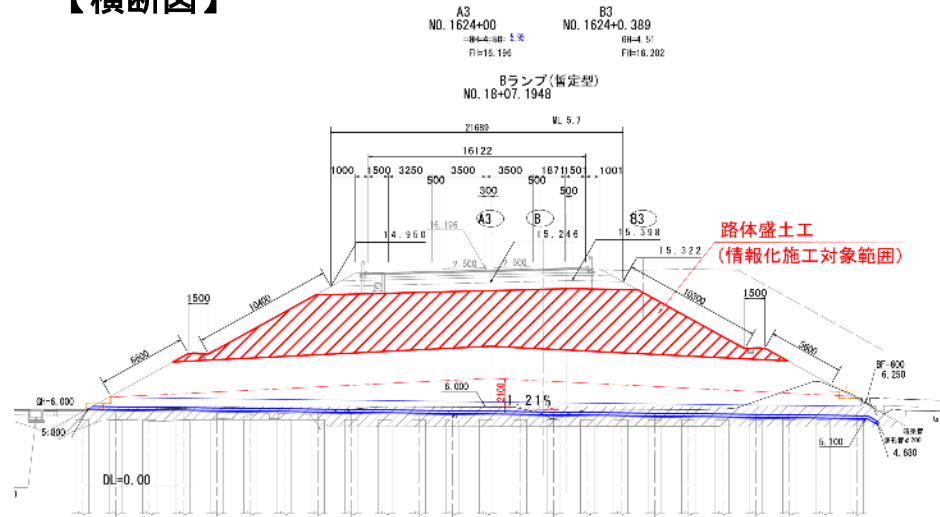


トータルステーション
(出来形管理用)

【施工位置図】



【横断図】



【情報化施工とは??】

- ・ 情報化施工技術を建設施工に適用して、多様な情報の活用を図ることにより施工の合理化を図る生産システムです。
- ・ PC等により作成した三次元設計データを現場で直接使用することにより、ミスの少ない高効率な現場作業を実現します。
- ・ 当現場では三次元設計データを基に、GPSを用いたブルドーザーのマシンコントロールと振動ローラーによる盛土の締固め管理を実施しています。

【当現場における情報化施工の活用メリット】

- ・ ブルドーザーの排土板を自動制御することにより、均一な敷均し作業を実施。転圧管理システムにより、振動ローラーによる転圧回数を面的に管理。従来からの「点の管理」に対し「面の管理」を行うことで、現場全体の管理が可能となっている。→ **品質向上**
- ・ 設計データを重機運転中にオペレーターが直接確認できることで、丁張り作業の負担を大幅に軽減。人件費の削減 → **コスト削減・工期短減**
- ・ 法肩等の危険な箇所での丁張り作業を省くことが可能で作業員の安全性が向上。
→ **安全性向上**